

2 質問紙調査の結果から

(1) 授業における目標（めあて・ねらい）の提示と学習内容を振り返る活動

「目標（めあて・ねらい）の提示」について、小6、中3ともに「はい」と回答している児童生徒の割合が増加する傾向が見られます。

ここからは、児童生徒質問紙と学校質問紙の結果から、県全体でどのような傾向が見られるか確認します。
まず、授業に関する項目に焦点を当てて見ていきましょう。

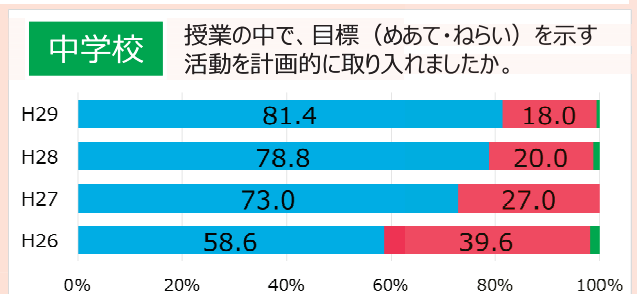
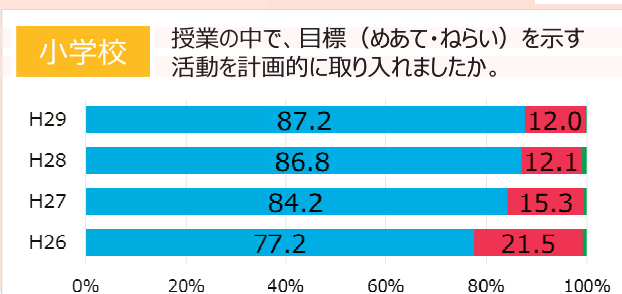
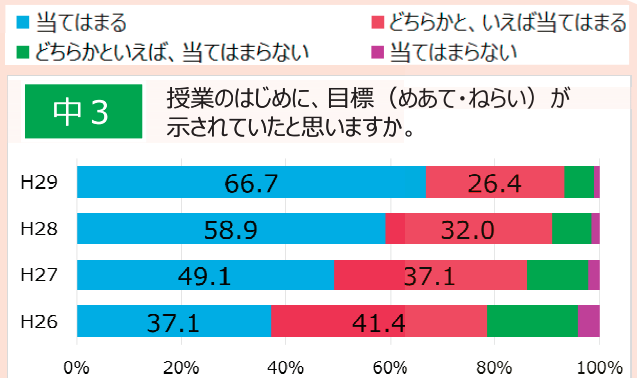
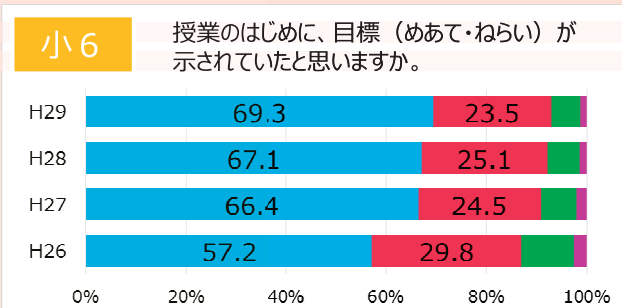


「振り返る活動の実施」について、小6、中3ともに「はい」と回答している児童生徒の割合が増加する傾向が見られます。

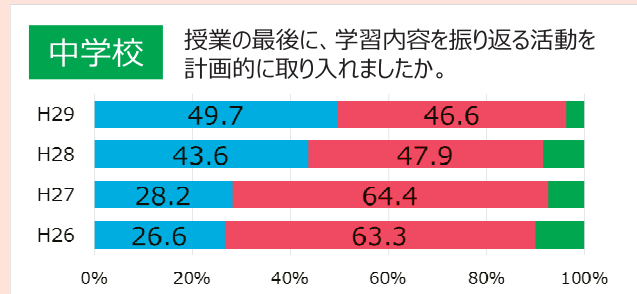
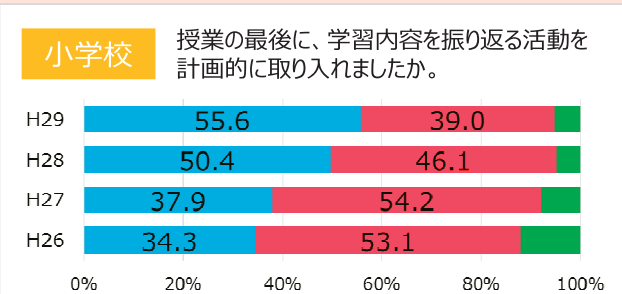
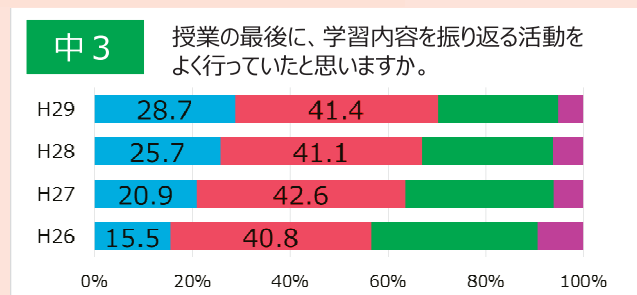
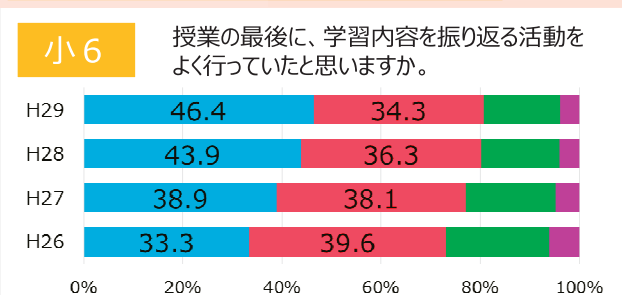


「目標（めあて・ねらい）の提示」や「振り返る活動」については、各学校において位置付けられつつあることが分かります。
今後もこれらの活動を通して、児童生徒の学習意欲の向上や主体的に学ぶ態度の育成等を図っていきましょう。

目標（めあて・ねらい）の提示



学習内容を振り返る活動の実施



(2) 主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善に向けた取組状況

学校質問紙調査と児童生徒質問紙調査のクロス集計の結果から、「そのとおりだと思う」「当てはまる」と回答した学校や児童生徒の方が平均正答率が高いことが分かります。

主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善に向けた取組状況について、県全体の傾向を見ていきましょう。

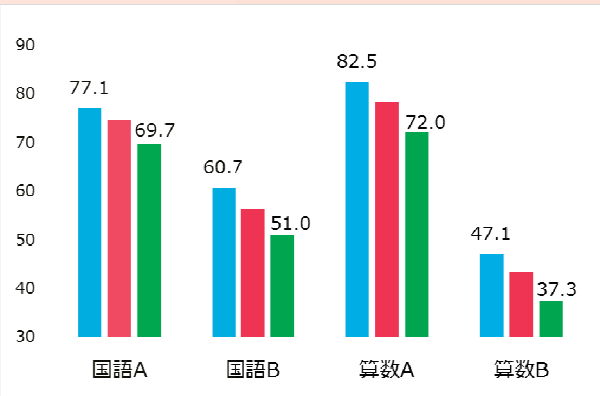
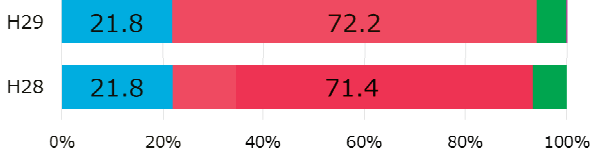


学校質問紙調査

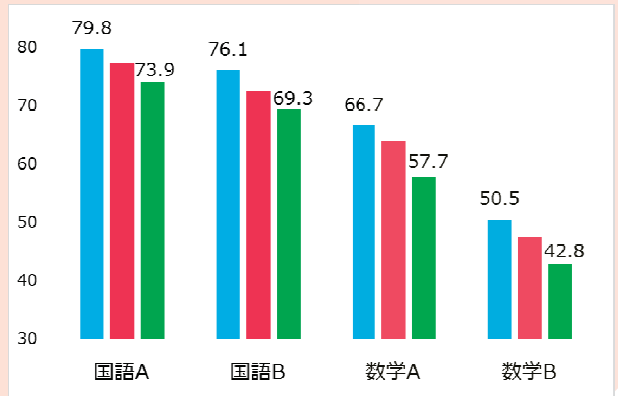
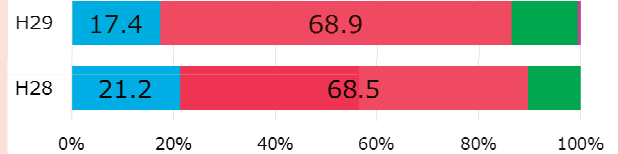
調査対象学年の児童(生徒)は、自らが設定する課題や教員から設定される課題を理解して授業に取り組むことができていると思いますか。

■ そのとおりだと思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない

小学校



中学校

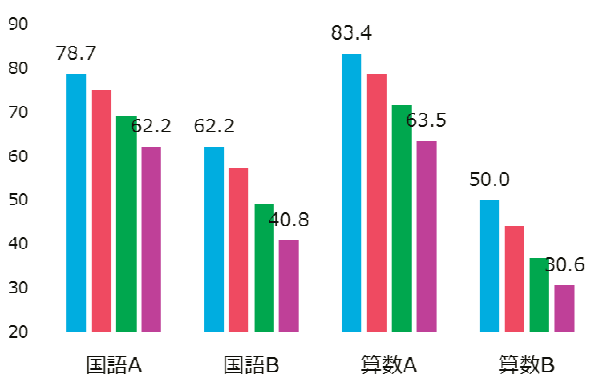
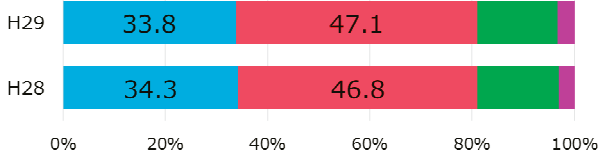


児童生徒質問紙調査

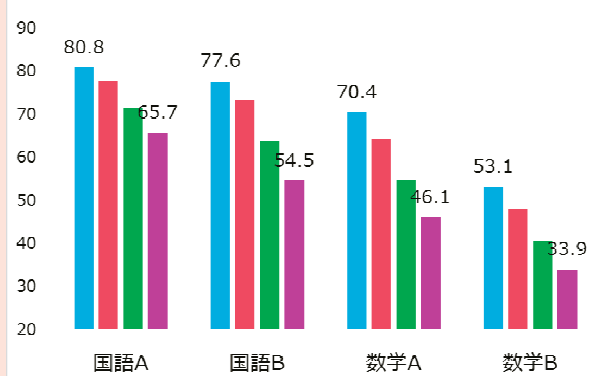
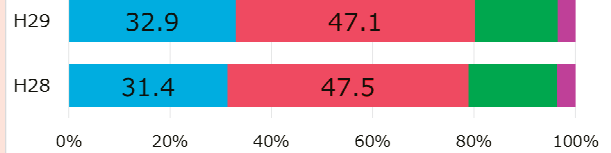
5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか。

■ 当てはまる ■ どちらかと、いけば当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

小6



中3



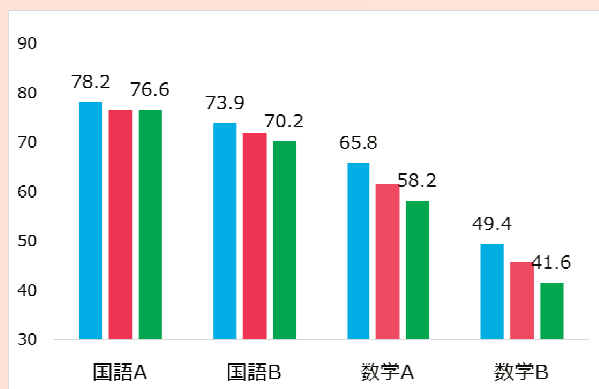
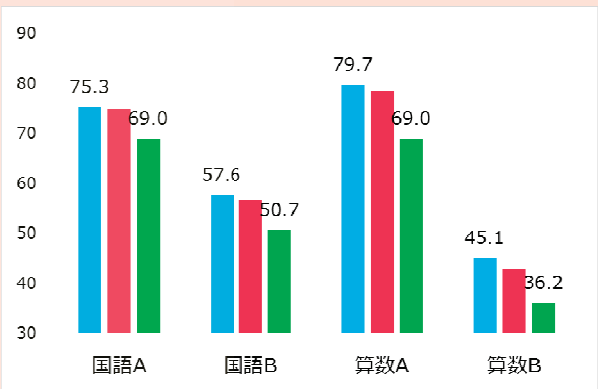
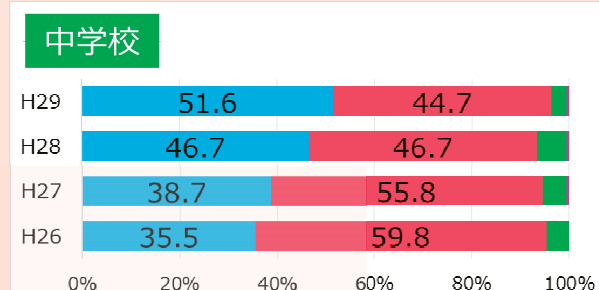
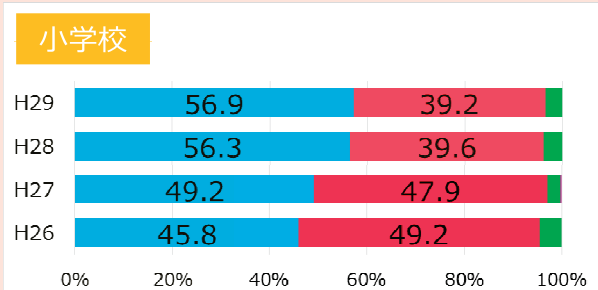
授業で「話し合う活動」を行っている学校が増加している傾向が見られます。特に、児童生徒質問紙調査におけるクロス集計の結果から、「当てはまる」と回答した児童生徒の方が平均正答率が高いことが分かります。

「話し合う活動」に焦点を当て、児童生徒質問紙調査と学校質問紙調査の結果から、県全体の傾向を見ていきましょう。
今後も、教科のねらいの達成に向けて、効果的な話し合い活動を意図的に位置付けていきましょう。



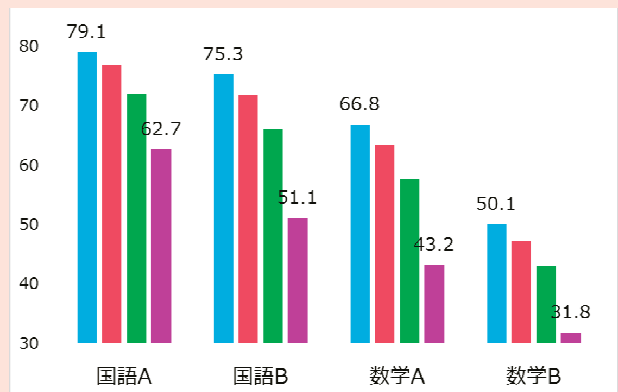
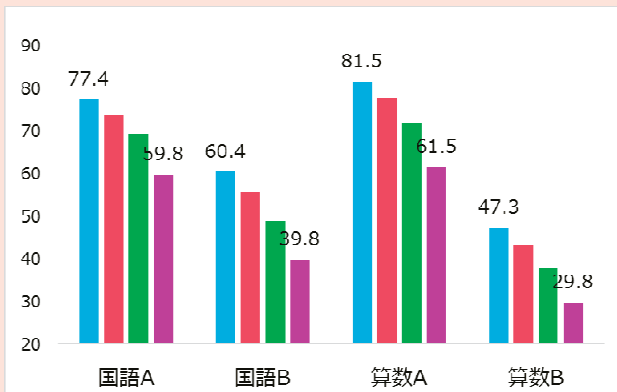
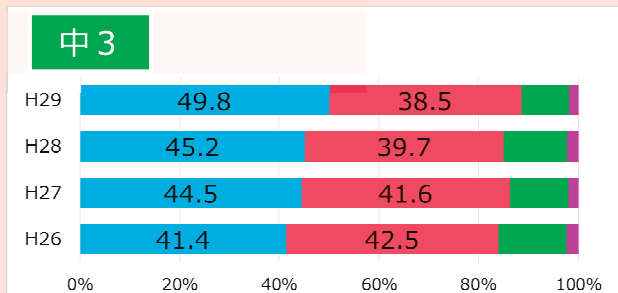
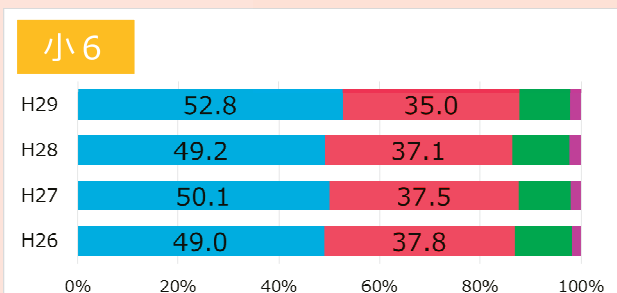
【学校質問紙】 調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか。

■ よく行った ■ どちらかといえば、行った ■ あまり行っていない ■ 全く行っていない



【児童生徒質問紙】 授業では、児童生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか。

■ 当てはまる ■ どちらかと、いえば当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



「学級やグループの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができているか」について、「そのとおりだと思う」と回答した学校の割合は10%程度であり、「そう思う」と回答した児童生徒の割合と差があることが分かります。

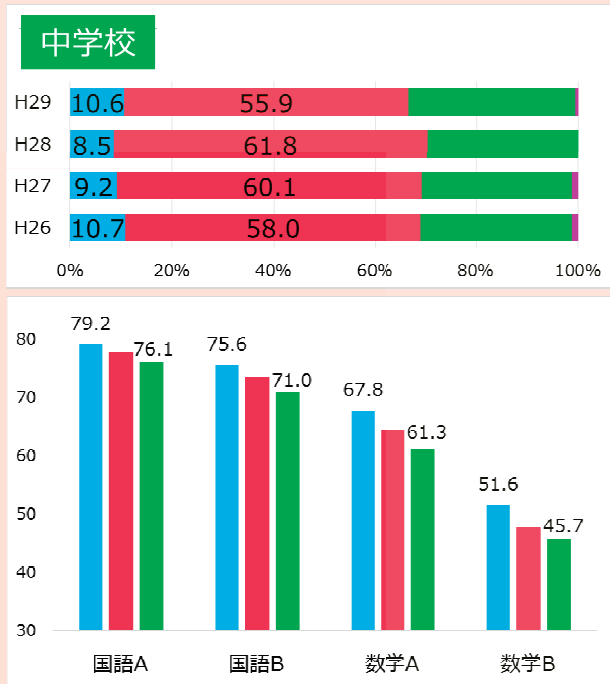
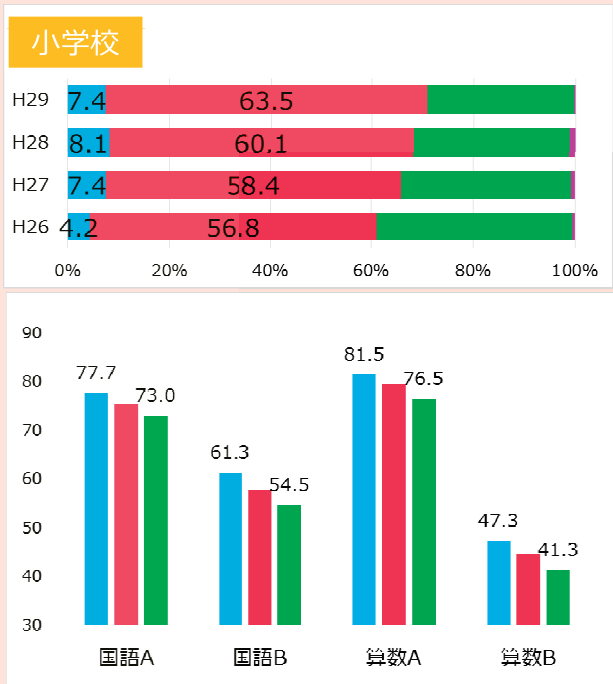
児童生徒質問紙、学校質問紙ともに、クロス集計の結果から、肯定的な回答を選択した児童生徒や学校の方が、平均正答率が高い傾向にあることが分かります。

授業においては、児童生徒が話し合う活動の前後で、自分の考えや表現がどのように変わったのかを実感できるよう指導するとともに、その変容を具体的に把握することが大切です。



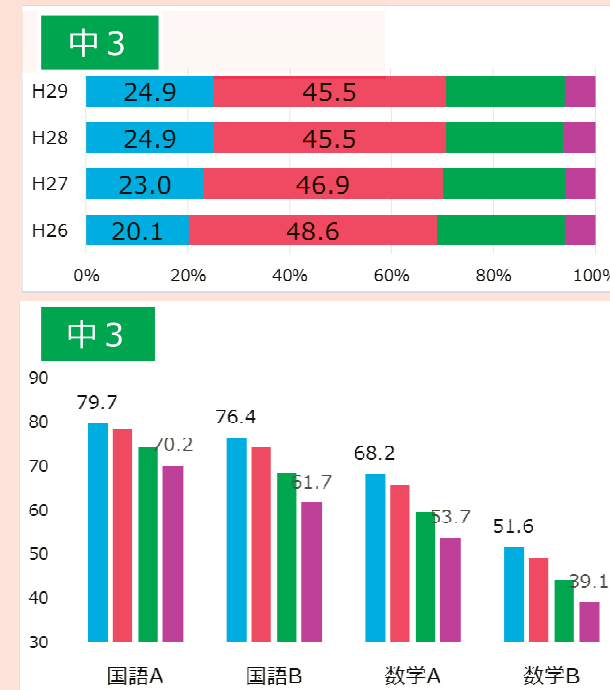
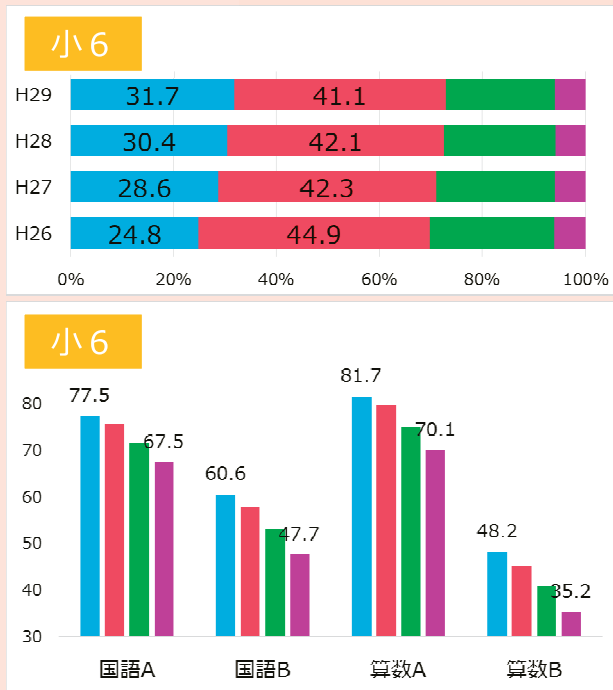
【学校質問紙】 調査対象学年の児童〔生徒〕は、学級やグループの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。

■ そのとおりだと思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない



【児童生徒質問紙】 学級の友達との間〔生徒の間〕で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない



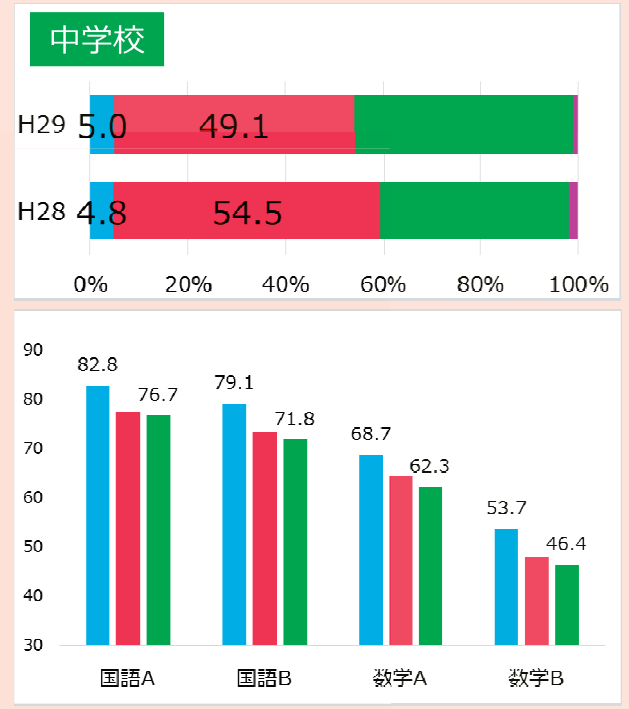
「授業で、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思うか」におけるクロス集計の結果から、「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、増加しており、肯定的に回答した児童生徒の方が平均正答率が高い傾向が見られます。

授業において、発言や発表をさせる際には、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫するよう、児童生徒に意識させることが大切です。各教科等の授業において、発達の段階に応じて、指導を積み重ねていきましょう。



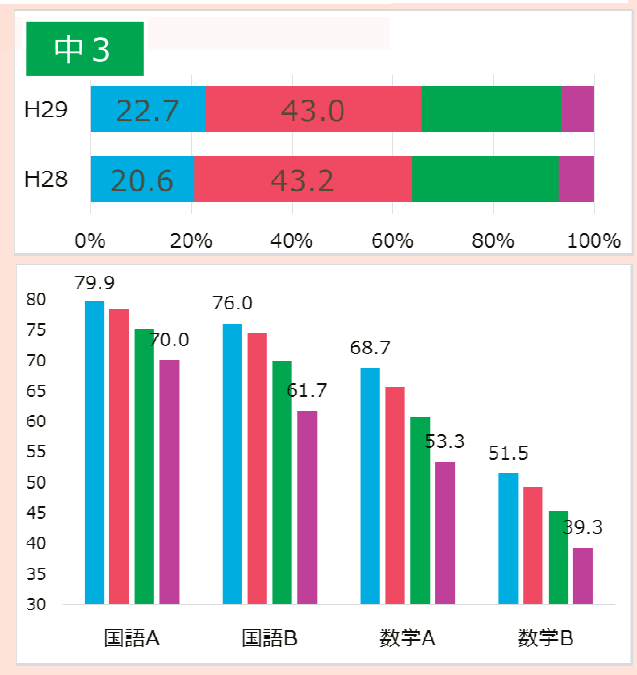
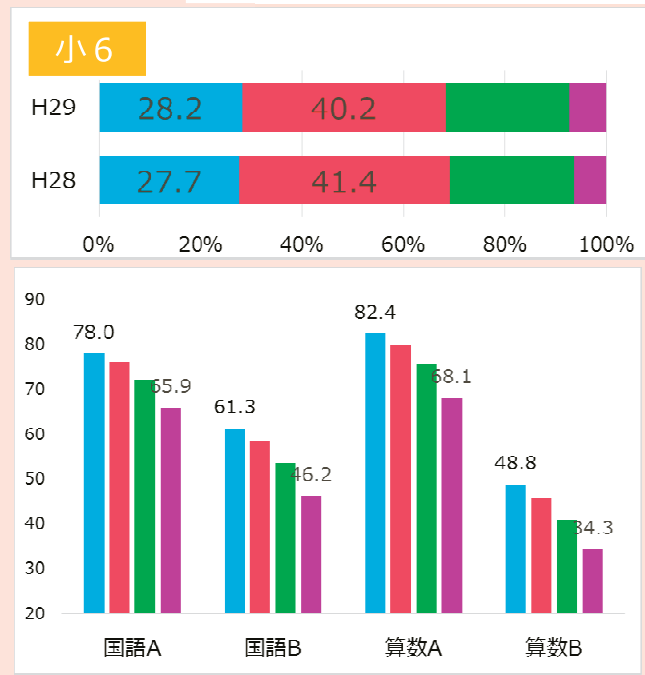
【学校質問紙】 授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか。

■ そのとおりだと思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない



【児童生徒質問紙】 5年生まで [1・2年生のとき] に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか。

■ 当てはまる ■ どちらかと、いえば当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



(5) 調査結果の活用

「調査結果の具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映」におけるクロス集計の結果から、「よく行った」と回答した学校の方が平均正答率が高いことが分かります。

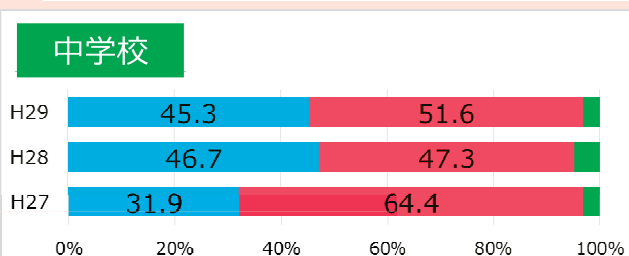
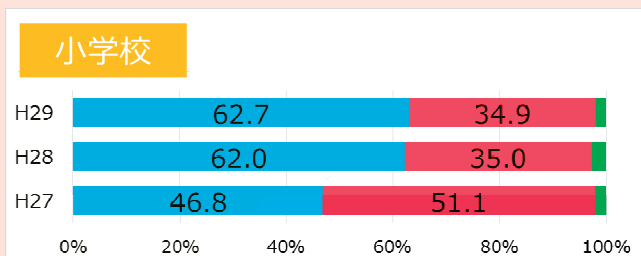
調査結果を基に、学校全体で、自校の強みと課題を共有することは、組織的な取組を推進する上で、とても大切です。

また、明らかになった課題の解決に向けて、どのように授業改善を図るかについて具体的に話し合い、学力向上改善プランを踏まえ、学校全体で授業改善に取り組むことが重要です。

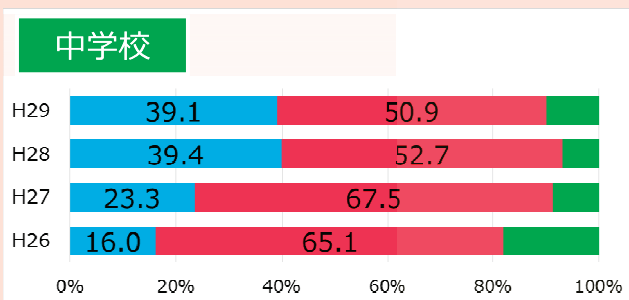
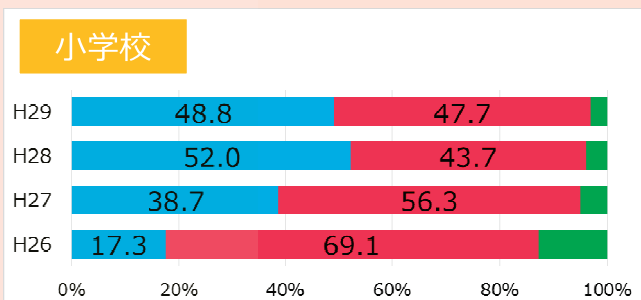


【学校質問紙】全国学力・学習状況調査の自校の結果を**分析**し、**学校全体**で成果や課題を**共有**しましたか。

■ よく行った ■ どちらかといえば、行った ■ あまり行っていない

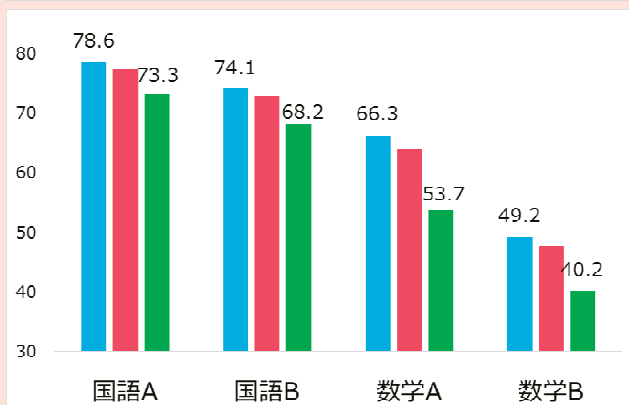
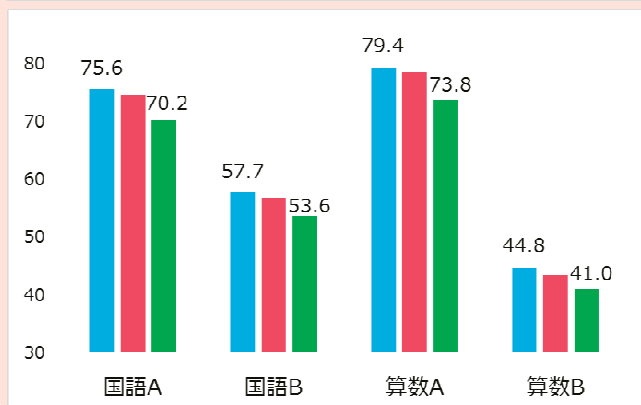
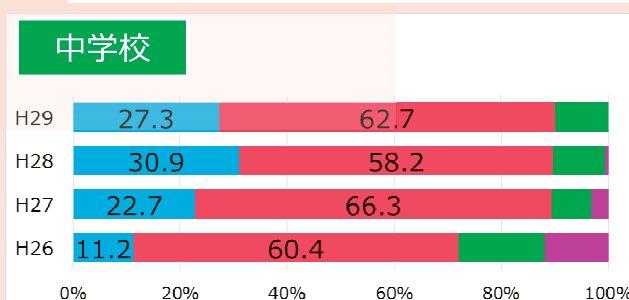
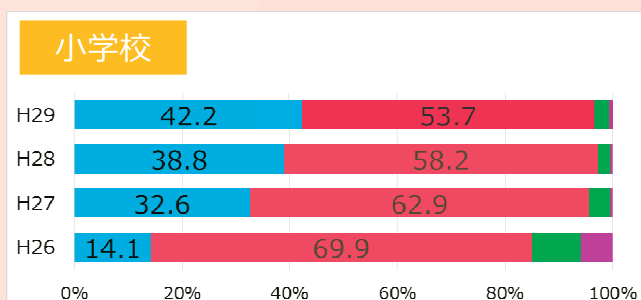


【学校質問紙】全国学力・学習状況調査の自校の結果を、調査対象学年・教科だけではなく、**学校全体**で教育活動を改善するために**活用**しましたか。



【学校質問紙】全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて**分析**し、具体的な**教育指導の改善**や**指導計画等への反映**を行っていますか。

■ よく行った ■ 行った ■ ほとんど行っていない ■ 実施していない



3 「確かな学力」の向上に向けた今後の取組について

県教育委員会では、平成26年度から「とちぎっ子学習状況調査」を要とする「とちぎっ子学力アッププロジェクト」を実施しています。

質問紙調査の結果から、授業における「目標（めあて・ねらい）の提示」や「振り返る活動の実施」については、多くの学校で定着しつつあることが分かります。一方で、「話し合う活動」については、授業において場の設定はされていますが、多くの児童生徒が、思考を深めたり、広げたりすることを実感していないなどの課題が明らかになりました。

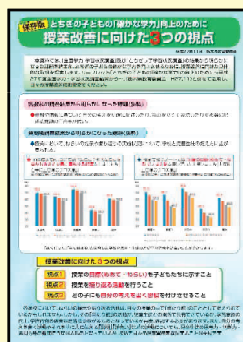
今後も基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得とそれらを活用して問題解決をする思考力・判断力・表現力等の育成に向けて、授業改善が必要であると考えます。

各学校においては、全国学力・学習状況調査結果等を活用した校内研修や課題解決に向けた授業研究会等を通して、とちぎの子ども「確かな学力」の向上に向けて、学校全体で組織的に取り組んでいきましょう。

県教育委員会ではこれまで、「とちぎの子ども「確かな学力」向上を図る授業改善例」「とちぎの子どもたちの確かな学力向上のために～授業改善に向けた3つの視点～」 「とちぎの子どもたちの確かな学力向上のために～言語活動の充実を図る3つの提案～」を作成し、配布してきました。また、文部科学省からは、「全国学力・学習状況調査報告書」、「授業アイデア例」など学習指導の改善・充実に向けた資料が出されています。これらの資料を効果的に活用しながら、各学校の学力向上に向けた取組の充実を図ってください。



とちぎの子ども「確かな学力」向上を図る授業改善例
栃木県教育委員会（平成26年度）



とちぎの子ども「確かな学力」向上のために
授業改善に向けた3つの視点
栃木県教育委員会（平成27年度）



とちぎの子ども「確かな学力」向上のために
言語活動の充実を図る3つの提案
栃木県教育委員会（平成28年度）



小学校報告書



中学校報告書



授業アイデア例

全国学力・学習状況調査関連資料
文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター

※ これらの資料は、それぞれのホームページからダウンロードすることができます。